

令和元年度 坂本教育賞

受賞校	氏名	表彰理由
<p>宿毛市立 宿毛小学校</p> <p>学級数 17 児童数 331</p>	<p>学校長 黒田令子 教育長 出口君男</p>	<p>卒業時の「目指す児童の姿」を明確に示し、教職員が同じ目標を見て、歩調を合わせ、短期・中期の検証を行い、「チーム宿毛小」として同僚性の高い、学び合い育ち合う学校となっている。</p> <p>そのように相互に作用しながら高まろうとする学校風土をつくることで、学校だけでなく地域全体が学びの場であるという観点にたち、学校・保護者・地域が連携・協働し、児童が安心して学びに向かう地域の教育風土をつくり上げ、学力面でも大きな成果をあげていることを高く評価する。</p>
<p>安芸市立 安芸中学校</p> <p>学級数 6 生徒数 111</p>	<p>学校長 小松一雄 教育長 藤田剛志</p>	<p>真面目だが消極的で人間関係の構築に問題を抱えるという生徒たちの実態を的確に捉え、校区の小学校とも連携して自己指導能力の育成に取り組んでいる。中でも授業が中心であると考え、生徒一人ひとりが授業に参加していると実感できる授業づくりに、全教員が一丸となって取り組み、「聴く力」を育てている。</p> <p>そのような実践により、ほとんどの生徒が、他者の話に耳を傾け、自分で考えをまとめて発言したり、校外でも元気にあいさつをしたりできるようになり、学力向上にも大きく繋がっていることを高く評価する。</p>
<p>高知市立 愛宕中学校</p> <p>学級数 20 生徒数 499</p>	<p>学校長 武田敏宏 教育長 山本正篤</p>	<p>素直で優しいが消極的で読解力にも課題のある生徒たちの実態を的確に捉え、育成したい生徒像を明確にして教職員が一丸となって取り組んでいる。中でも「子どもと向き合う時間」の確保に向けて、全教職員が働き方改革に向けた意思決定をするなど、「チーム学校」としての改革とその成果が顕著に見られる。</p> <p>そうした改革により、教員同士が互いの授業から学び合うしくみを構築し、実効性の高いPDCAサイクルができあがり、生徒の飛躍的な学力に向上繋がっていることを高く評価する。</p>

(敬称略)